

# 平成28年度 公益財団法人日本バレーボール協会公認

## ソフトバレーボール・リーダー養成講習会報告書

期日：平成28年6月18日（土）・19日（日）

会場：柏崎市西山総合体育館

主任講師：（公財）日本バレーボール協会公認講師 川上春雄先生

補助講師：新潟県ソフトバレーボール連盟 マスターリーダー

受講者数：69名（男性42名、女性27名）

講習内容：

新潟県では隔年の開催となる、ソフトバレーボール・リーダー養成講習会を柏崎市で開催しました。主任講師には地元新潟県長岡市出身（公財）日本バレーボール協会公認講師の川上春雄先生をお迎えし、新潟県ソフトバレーボール連盟より7名のマスターリーダーを補助講師として、2日間の講習会を実施しました。

県内のリーダー資格保有者も増えてきてはいますが、今講習会に受講者が集まるか不安でした。しかし、県内各地から69名の申込みがあり安堵いたしました。

1日目はまず、川上先生より「国民のスポーツニーズの動向とソフトバレーボール普及の意義」について、パワーポイントを活用した分かりやすい講義でスタートしました。その後は、県連マスターリーダーによる講義が行われました。「新潟県の現状」については県連ホームページを活用したり、「大会運営法」や「競技規則」についても質問等を受けたりしながら、受講者の皆さんが関心を持つような内容が工夫されていました。

グループディスカッションでは受講者を9グループに分け、自己紹介、テーマについてのグループ討議、そして意見発表の流れで実施しました。最初は緊張ぎみだった受講者の皆さんも、発表が終わる頃には笑顔がみられ、グループ内の交流が深まりました。大変盛り上がったグループディスカッションで1日目が終了しました。

2日目はDVDを視聴しながら公式記録の記入法を学ぶ講義からスタートしました。映像が少し見にくかったのですが、受講者の皆さんは手元の見本を見ながらスムーズに記入されていました。その後、体育館に移動して、マスターリーダーによる「コート設営」の実演を行い、設営の要点を学びました。続いて準備運動に移ると、ようやく受講者の皆さんも体を動かせるとあって、緊張がほぐれた様子で汗をかきながらストレッチ等でウォーミングアップを行いました。体育館は少し暑かったのですが、水分補給と休憩を取りながら実技が進められました。川上先生からの「ソフトバレーボール指導法」になると、ボールに触れるとあって真剣な眼差しでボールを扱い、次々と川上先生からの課題をクリアしていました。小学生用のボールを使っただけのコート内での実践でしたが、普段使わないビニール製ボールに戸惑いながらも、楽しそうに学んでいました。

午前中最後の講義では、地元柏崎市のチームにお手伝いをいただき、県連役員が審判団となって模範ゲームを行いました。ホイッスリングやハンドシグナル、審判団の連携を勉強しました。午後からはコート3面を使用し、3グループに分かれて、それぞれ審判の実習を行いました。慣れない記録で試合の進行が止まる場面もありましたが、女性が積極的に審判台に立つなど、受講者の皆さんは熱心に取り組んでいました。

閉講式で川上先生より「全員合格です」と告げられると、受講者は安堵の表情で認定証とワッペンを受け取りました。「リーダー養成講習会に参加して本当に良かった」と2日間ご指導いただいた川上先生に感謝の大きな拍手が送られ、無事にリーダー養成講習会が終了いたしました。

この講習会を振り返ってみますと、受講者の皆さんがとても熱心で、絶えず積極的な姿勢で参加されていました。まだまだ自信が持てない場面もあるでしょうが、この講習会を機にどんどん経験を積み上げ、ソフトバレーボール・リーダーとして県内各地で活躍されることを期待しております。県連としても、審判講習会や研修会を充実した内容にするため、マニュアルの作成に取り組んだり、審判規則委員や指導普及委員が県内各支部の講習会に派遣するような体制を作ったりし、審判技術の向上に努めていきます。

本年度からはリーダー研修事業も開催予定ですが、今後も役員一同協力しながら事業を推進して参ります。

講師の川上先生には準備段階から何かとご指導を頂き感謝申し上げます。御礼を申し上げ、講習会の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

新潟県ソフトバレーボール連盟  
理事長 村山 圭一